スタート助成金

2 東いきいきサロン

北茨城市

サロン開設年月日	平成22年９月25日
開催日及び開催頻度	第２木曜日 （13：30～15：00）
開催拠点	北茨城市大津町　力印商店倉庫
代表者氏名	櫻井　恵子
１回の参加人数	平均15人
１回の運営スタッフ数	平均５人
参加費	100円

事業名

高齢者ふれあい・いきいきサロン立ち上げ事業

目　的（趣旨）

◉住み慣れた地域の仲間が集い，安心していきいきと元気にいつまでも地域で暮らせることを目指し開催します（高齢者の閉じこもり防止，介護予防）。

対象者や具体的内容

◉高齢者の閉じこもり防止と介護予防のために，健康体操・ゲーム・ニュースポーツなどを行い楽しく過ごしています。

財源の確保

◉参加者より参加費を徴収予定，自主的運営を心がけています。

生活課題への対応

◉高齢者世帯や日中独居が増え，公民館までは距離があり，公民館で実施している講座等には参加しにくい傾向があるため，歩いて出かけられる距離でのサロン開催が要望されました。

地域の社会資源の活用

◉公民館までは距離があるため，地域の空き倉庫を利用して民生委員・ボランティアを中心に開催しています。

継続させるための工夫

◉年間プログラムの作成。
◉開催案内ビラの配布。

他のサロンにはない特徴

◉地域の社会資源である空き倉庫を利用して，参加者の利便性を図っています。

サロンのＰＲポイント

◉誰もが気軽に参加しやすい地域のたまり場的なサロンにしています。

委員からの一言コメント

訪問日前日に雪が降り，大変寒い日であったが，空き倉庫を利用した（いきいきサロン）への参加者15人は，元気一杯であった。昨年10月に立ち上げ，今回で３回目の実施となるが，市社協担当者が中心となり，健康体操・歌・ゲームといったメニューを和気あいあいと賑やかに行っていました。代表者は地元地区担当民生委員が担い，今後の課題として①役割分担②実施回数を増やす③寒さ対策等があるとの話しでした。

北茨城市市内には16サロンがあり，殆ど市社協が中心となって，月１回の実施が多いとのこと。地域性を考慮しながら，また，空き倉庫利用という特性を活かした「つどいの場」となるよう期待します。（大橋正男　委員）